

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		ILIS CLUB松原		公表日		2025年 4月 1日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	1	お子さまが安心して過ごせるよう毎日、環境を整えております。	建物の構図上、死角になってしまう部分がある為、今後も職員配置を徹底していきます。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	2	保育士4名と児童指導員3名、運転手4名が在籍しております。	今後もお子さまが安心して過ごせるように職員配置やスケジュールの調整をしていきます。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	1	教室内に手すりを設置し、段差も少ないです。また視覚的に分かるように準備をしています。	建物の構図上、死角になってしまう部分がある為、今後も職員配置を徹底していきます。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7		日々教室の掃除やアルコール消毒を行い、安全に過ごせるように環境を作っております。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7		お子さまの様子や特性に合わせて個室での対応が出来るように環境を整えております。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6	1	定期的に話し合いの場を設け、職員同士のコミュニケーションや情報共有を大切にしています。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	1	教室全体で保護者様からのご意見を把握し、改善できる点を話し合い、実行しております。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		日々職員間で意見交換を行い、より良い支援を提供できるようにしております。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6		内部監査での評価結果を職員で共有し、改善点を話し合っています。	第三者による外部評価は行えていませんが、社内での内部監査を行っています。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	1	社内全体・事業所内で定期的に様々な研修を行っています。		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7		適切にプログラムを作成し、公表しております。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7		アセスメントシートを用いたり、保護者様との面談を通して、お子さまの特性等に沿った支援計画を作成しております。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	1	児童発達支援管理責任者と職員とで話し合う機会を設け、職員で共通理解の下で支援を行っております。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7		支援計画の内容を日々確認し、お子さまや保護者様のニーズに沿った支援を行っております。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	1	アセスメントや保護者様からの引継ぎ等でお子さまの様子や状況を確認しております。		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	1	今後もガイドラインに沿った支援を行っていくように努めて参ります。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	1	事業所会議・朝礼時・終礼時に活動プログラムについて話し合う場を設けています。	今後もその日通所するお子さまの様子や特性に沿った支援が行えるようにして参ります。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7		毎日の療育内容を決める職員を変え、スタッフ間でないようについて話し合いをし、また療育内容を一ヶ月毎に表にすることで固定化しないようにしています。		

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6	1	状況に応じて支援を行う環境を整えております。	今後も個別活動を行えるよう職員配置やスケジュールを調整して参ります。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	1	毎日朝礼を行い、その日のリーダーが主となって支援内容を決めていきます。	今後もその日通所するお子さまの様子や状況、支援内容の共有を行い、より良い支援が行えるようにして参ります。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	3	毎日終礼を行い、当日出勤した職員で情報共有をし、朝礼終礼ノートに詳しく記入しています。	今後もその日通所するお子さまの様子や状況、支援内容の共有を行い、より良い支援が行えるようにして参ります。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7		業務日報だけではなく、朝礼終礼ノートにも支援内容や改善点などを記入しています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	1	定期的にモニタリングを行ったうえで職員間で話し合いをし、支援内容や支援計画の見直しが必要な際は行っている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	7		4つの基本活動を普段の療育等で反映させ、支援を行っております。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7		お子さまが自己選択できるように促しを行い、一緒に考えていける環境を作っております。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	1	児童発達支援管理責任者またはマネージャーが出席しています。	今後も参加し、関係機関との連携して参ります。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	2		医療的ケアが必要になる児童は現在通っていないが、受け入れる場合もあるため受け入れ体制を整えていきます。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7		支援学校の説明会に参加し、地域の小学校とも細目に情報共有をしています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6			情報共有・相互理解を図る園はあるが、相互理解が難しいこともあるため積極的に情報共有を図っていききたいと思っております。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	4	1		情報共有が出来る児童がいれば、出来ない児童もいるため、情報共有が出来るように関係機関との関係性を深めていきます。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	4	2	様々な研修を受講する機会が設けられています。	今後も地域の児童発達支援センターとの連携を図って参ります。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		7		現在は感染症予防の為、交流が行えていないが、今後感染症等の流行が収まった際に交流が出来るよう関係機関との連携を引き続き行います。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。		7		今後、参加して参ります。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7		送迎の際や連絡帳等で保護者様とお子さまの様子等をお話させていただいております。内容を職員で共有し、支援内容に反映しております。	今後も保護者様との伝え合いを大切に、お子さまへの支援や保護者様のサポートを行って参ります。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	6		ペアレント・トレーニングについて学ぶ場を設け、知識向上を目指しています。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7		見学や体験時、契約時に詳しい説明を行っています。	今後も安心して通所いただけるよう詳しい説明を心がけて参ります。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	1	送迎の際や連絡帳等を用いて意向等を確認させていただいております。また希望があれば面談や電話対応で確認させていただいております。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7		同意をいただく際に保護者様に内容について説明をさせていただいた後、同意のサインを頂いております。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	1	保護者様からの悩みや相談があった際は話を聞く時間、またはお話を聞く場を設けさせていただき、迅速に対応するように努めています。	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		7		現在は開催出来ておりませんが、今後保護者様同士の情報提供の場を作って参ります。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7		保護者様からの相談や申し入れには迅速に対応するようにしています。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	7		毎月おたよりで教室の様子や活動の様子を発信しています。またブログやInstagramを使用し、活動概要をお伝えしております。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7		個人情報は鍵付きの書庫で管理しております。今後も厳重に管理して参ります。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7		教室での様子を詳しくお伝えし、お家でも継続して行える内容もお伝えしております。今後もお子さまの成長に繋がる助言を心がけて参ります。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	6		現状は地域住民を招待する行事等を企画出来ていないため、今後検討して参ります。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7		毎月、様々な災害を想定した避難訓練や防災訓練を実施しています。また感染症などの訓練も行っています。	引き続き保護者様におたより等で発信して参ります。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7		業務継続計画(BCP)を策定し、非常災害を想定した避難や救出など様々な訓練を行っております。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	7		見学や契約の際に服薬やてんかん等についてお聞きし、また別紙にて状況を記載し、職員が確認できるようにしております。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7		全児童に定期的にアレルギーに関するアンケートを取っています。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	1	お子さまに安心して過ごしていただけるよう日々環境整備をおこなっております。また支援を行う際に留意点等を職員で話し合い、安全を確保しております。	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4	3		今後もお子さまの安全確保のため保護者様に安全計画の取り組み内容について知っていただける機会を設けて参ります。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7		ヒヤリハットがあった場合はすぐに作成し、全スタッフで共有するようにしています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7		虐待防止委員会を設立し、定期的に全職員が虐待防止についての研修を必ず受講しています。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6	1		身体拘束に対しては保護者様と十分に話し合いを行い、了承を得た上で支援計画書に記載していきます。（現在、対象のお子さまはいらっしゃいません。）	